

## 議事概要

会議の名称	令和6年度第4回三田市子ども審議会
開催の日時	令和6年9月27日(金) 10時00分～11時35分
開催の場所	本庁舎3階302会議室AB
出席した委員の氏名	名須川知子会長、中西利恵副会長、尾上尚司委員、倉崎朝子委員、藤原慶子委員、山地真由美委員、高澤憲司委員、筒井清香委員、濱口尚子委員、菊地凌輔委員、光永文香委員、今西茂子委員、中山弘美委員、野々山修委員、和田尚子委員、北村哲夫委員
出席した職員の職及び氏名	(事務局) 松本子ども・未来部長、浅野学校教育部長、喜多子ども・未来部次長、松下子ども政策課長、平石子ども家庭課長、神影子ども育成課長、井上(久)保育振興課長、藤田幼児教育振興課長、増田障害福祉課長、佐藤移住定住促進課長、橋本人権共生推進課長、井上(尚)教育総務課長、田中学校教育課長、市原教育支援課長、出藏教育研修所長、西中子ども政策課副課長、畑子ども政策課主幹(多世代交流館長)、亀島幼児教育振興課副課長、芦田地域福祉課副課長、西子ども政策課係長、小西子ども政策課係長、荻野子ども政策課主任、山田子ども政策課主任、谷本子ども政策課職員
傍聴人の人数	1名
議題	協議事項 (1)三田市子ども計画(素案)について(資料1-1、1-2、1-3) (2)子ども・子育て支援事業計画案について(資料2-1、2-2) ※量の見込みと確保方策について (3)教育・保育施設に係る利用定員について(資料3-1、3-2)
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	【資料1-1】三田市子ども計画(素案) 【資料1-2】三田市こども計画 第4章(素案)に関する意見への対応一覧 【資料1-3】三田市こども計画 成果指標(案) 【資料2-1】第3期子ども・子育て支援事業計画における量の見込と確保方策(案)

	<p>【資料2-2】第2期子ども・子育て支援法に基づく事業計画 需給量実績</p> <p>【資料3-1】教育・保育施設に係る利用定員について</p> <p>【資料3-2】市立認定こども園に係る利用定員について</p>
連絡先	子ども・未来部 子ども政策課 電話 (079) 559-5079

## 会議経過

### 1. 開会

- ・喜多子ども・未来部次長の司会により開会、配布資料の確認等
- ・松本子ども・未来部長より挨拶

### 2. 議題

#### 協議事項

##### (1) 三田市こども計画（素案）について

（事務局より説明）

・・・【資料1-1】【資料1-2】

委員：三田市の公式LINE登録者数はどれくらいでしょうか。オンラインやSNSを活用しても、周知ができていなければ「知らなかった」で終わってしまうと思います。

事務局：三田市の公式LINEについて、公共施設での掲示等の周知により、現在約13,000人に登録いただいております。ホームページが見つらいとのご指摘もいただいておりますので、今後、子育て情報の周知方法について検討してまいります。

委員：資料1-2のNo.5に、性教育についての意見が記載されていますが、資料1-1の48ページにはその文言が出てきていません。性教育やジェンダー教育等については、計画には記載されないのでしょうか。

事務局：性教育については、体育や保健体育のみならず、道徳や特別活動等、全ての学校教育活動を通じて取り組んでおります。ジェンダー教育についても、人権教育のひとつとして取り組んでいるところです。

委員：この計画にジェンダー教育に関する表記がないのは、何か理由があるのですか。

事務局：本計画では健康面の教育に主眼を置いておりますが、ご意見を踏まえ、記載について検

討させていただきます。

(事務局より説明)

・・・【資料1-3】

委員：重点施策1の成果指標の中で、特に目標値の上がり幅が大きいのは「産後ケア事業利用割合」と「子ども家庭センター合同ケース会議の実施割合」であると思われませんが、例えば、資料1-1の44ページにある「オンラインによる相談支援をより拡充していく」等により、産後ケア事業利用割合等をあげていくということでしょうか。

事務局：産後ケア事業は、妊娠期から出産期の切れ目のない支援の一環として実施しており、国も力を入れて推進しています。オンライン相談支援と直接の関係はありませんが、産後の個別訪問時に聞き取りをしながら、より多くの方に産後ケア事業を利用いただき、切れ目のない支援をしたいと考えております。

委員：具体的に、今までの何を変えて成果指標の数値を上げようとしているかが記載されていると、より分かりやすいと感じました。産後ケア事業の中で、特に利用されているメニューはどれですか。

事務局：産後ケア事業は、宿泊型・通所型1日コース・通所型半日コース・訪問型の4つのメニューがあり、今年度は訪問型の利用が一番多いです。母子手帳交付時の案内や、ホームページ等でお知らせしているところですが、「子育て情報が分かりづらい」という声もありますので、今後、より多くの方に利用していただけるよう検討してまいります。

## (2) 子ども・子育て支援事業計画案について

(事務局より説明)

・・・【資料1-1 (P88～)】【資料2-1】【資料2-2】

委員：量の見込みで、減少している数値があるのは、計画を実行しても子どもの数は減るというシミュレーションであるからでしょうか。何も対策をしなければ更に減少するところ、計画を実行することにより食い止めるというイメージでしょうか。

事務局：ご指摘のとおりです。こども計画に基づく事業を5年間で適切に実施する前提で増減率を調整したシミュレーションとしています。

委員：保育士の働きやすさ・休みやすさについて、今後検討が必要だと思われませんが、幼児教育に携わる方々への予算配分等については、どう考えられていますか。

事務局：保育士の処遇改善や確保・定着は大きな課題です。約2年前、国主導で保育士の給料をアップさせる処遇改善が行われました。これに加え、市の事業として、宿舍の借り上げや就職時の準備金に対する補助金を予算計上しており、今後もこれらを充実させていきたいと考えております。

委員：資料2-1の6ページに、新規事業として「親子関係形成支援事業」が記載されていますが、資料1-3の成果指標では事業の現状値が記載されています。三田市としては既に取り組まれているということでしょうか。

事務局：ご指摘の通り、三田市では既に親子関係形成支援事業を実施しています。

### (3) 教育・保育施設に係る利用定員について

(事務局より説明)

・・・【資料3-1】【資料3-2】

委員：階段でのケガや事故が懸念されますが、ありまふじ幼稚園にエレベーターを設置する予定はありますか。

事務局：エレベーターの設置の予定はありません。階段は、緩やかな段であることや、幅を広くとること等を考えて設計されておりますので、ご理解いただければと思います。

委員：足の不自由な方や車いすに乗られている方から、今後そのようなニーズが出てくるかもしれないということを、頭の片隅に置いていただければ幸いです。

認定こども園設置の目的のひとつとして、長時間保育への対応があるかと思いますが、ありまふじ幼稚園は、7時～19時に対応されるのでしょうか。

事務局：月曜日から金曜日の7時から19時と、土曜日の7時から18時に対応予定です。

委員：保育士の確保等も大変であると思われませんが、ぜひ実現していただければ嬉しいです。

副会長：保育士の確保は大きな課題です。保育士確保のために、今後どのように予算をつけるか・

制度化していくか等について、引き続き検討していただければと思います。

会 長：三田市のこども計画が実現すれば、素晴らしい市になると思います。子育て家庭全体のサポートについて努力しようとされている計画だと感じていますので、今後も委員の皆様とともにブラッシュアップさせていきたいと思います。

3. その他

4. 閉会